

修正案提案説明(共産党)

世界的金融危機のもと中小零細企業や市民の生活を支援する対策を直ちに行うべきであり、このため平成二十年度一般会計補正予算(第六回)のうち次の項目にかかる予算を修正する。市中小企業融資制度の利用に必要な信用保証料の全

討論

真正議員団 リベラル東大阪 さわやかな風 荊政会

リベラル東大阪、さわやかな風、荊政会、真正議員団は、一般会計補正予算第三回の専決事項報告に断腸の思いで承認する。

本議案は、学校給食調理業務委託経費を含む補正予算であるが、学校給食の委託は政策に係る重要事項である。議会審議なしの専決はいけないとの文教委員長

市長は議会を招集する時間がありながら招集せず、議会の審議権、議決権を奪い、専決権の乱用である。重要な予算を含んでおり、

額助成や小規模企業融資制度の融資限度額の引き上げと返済期間の延長、また職を失った市民の市営住宅への緊急入居のための住宅修繕、市民への雇用相談等を行う雇用生活総合相談窓口の設置や民間団体が行う労働雇用相談にかかる経費の補助を実施するため予算を増額修正する。

断腸の思いで承認するが、新年度当初予算で議論する。リベラル東大阪、さわやかな風、真正議員団は、事務分掌条例の一部改正に反対する。

本来機構改革は、原局と十分ヒアリングをし、課題整理の上実施すべきだが、不十分なままの上程であり時期尚早である。とりわけ社会教育部分の多くを市長部局へ移管することは、教育委員会みずからの事務の放棄と言っても過言ではなく、本改革案は職員数と部局数の数合わせでしかない。

自由民主党

公明党、自由民主党は、組織機構改革に係る議案第五十六号、事務分掌条例の一部改正に賛成する。この組織機構改革案は、

議案の会派態度表

(○賛成 ×反対)

Table with columns for party names (公明党, 真正議員団, 共産党, 自由民主党, リベラル東大阪, さわやかな風, さきがけ, 荊政会) and rows for various budget items and bills. Includes a note at the bottom: ※リベラル東大阪に所属

一職員の直談判により市長に提案された。職員は志半ばで帰らぬ人となったが、遺志を引き継いだ若手職員たちが、市役所の変革を理念とし、力を振り絞ってまとめられたものである。

今、アメリカでチェンジという言葉が叫ばれているが、本市でもチェンジが求められている。この改革案は、まさに市役所のチェンジに組織を挙げてトライするものであり、評価する。議会が改革案を否決するこ

とは市役所のチェンジを否定したことにはかならず、市役所の変革を求める資格を放棄するものと言っても過言ではない。

改革案には様々な意見があるが、不都合が生じれば修正することは可能で、それを検証し良い方向に導くのが議員の職責でないか。今市役所に求められているのは、変革の第一歩を踏み出すことである。我々議員は、東大阪の将来に向かって市役所の変革

を進めるか、従来の市役所をよしとしてそれに甘んじるのか、市民の代表として決断を求められている。市民生活の向上のため、理事者とともに、車の両輪として信頼関係を構築し、前進しなければならぬ。

修正予算の修正案は、不況のもとで営業と市民生活を緊急に守る施策を具体化したもので、賛成する。組織機構案は、経済部の

共産党

産業振興を妨げる。また社会教育部を解体し、本来の教育委員会の業務を市長のもとに置くもので反対。学校給食の民間委託は食の安全で疑問、日新高校定制授業料の値上げは、不況下で行うべきでない。

指定管理では、保育所の指定期間が短く、将来の譲渡が前提。総合体育館、東体育館は社会教育施設の役割が不明確。住宅公社は部落開放同盟関連企業への多額の委託があり反対する。